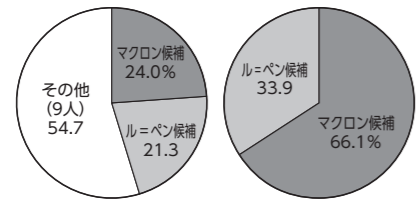


年	組	番	名前
---	---	---	----

思考実験 **さまざまな多数決の方法**

Q1 多数決では「決選投票」が行われる場合がある。2017年に行われたフランス大統領選挙を例に、なぜこのような投票制度が行われているのか考えてみよう。(→ p.44【I】)

(1) 第1回投票と第2回投票(決選投票)の結果を下の表に整理してみよう。



(2017年)(在日フランス大使館資料)

↑ 第1回投票(左)と第2回投票(決選投票)(右)の得票率

	第1回投票	第2回投票(決選投票)
マクロン候補	()%	()%
ル=ペン候補	()%	()%
両者の差	()ポイント	()ポイント

(2) 投票結果や投票制度に関する a~e の解説は、「第1回投票」「第2回投票(決選投票)」のどちらに当てはまるだろうか。()に数字を記入しよう。

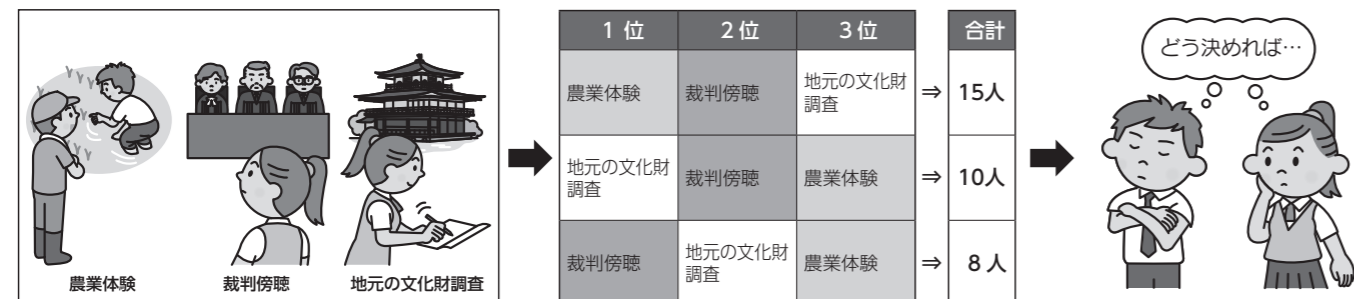
- a. 幅広い候補者に対する国民の意思が示される …… 第()回投票
- b. 候補者を絞って比較することで国民の選択がより明確になる …… 第()回投票
- c. 過半数の意見が結果で示されるため、国民の納得を得やすい …… 第()回投票
- d. 投票を行うための手間や時間が少ない …… 第()回投票
- e. 複数回投票することによって冷静な判断を下しやすい …… 第()回投票

(3) なぜ決選投票の制度が行われているのか、考えてみよう。

Q2 多くの人の意見を反映する方法を考えてみよう。(→ p.44【II】)

【設定】次のような状況について考えてみよう。

- ① 校外学習の行き先を3案の中から一つ決めることになった。
- ② 行き先の順位づけごとの人数の内訳は表のようになった。
- ③ どのような多数決の方法で決めたらよいだろうか。



(1) 左ページ下の例について、A~Cの方法で決めるとどのような結果になるだろうか。表の空欄を埋めながら考えてみよう。

方法	A 単純多数決	B 決選投票	C 点数配分
概要	最も多くの人々が1位に選んだ行き先に決める。	1位に選んだ人が多かった行き先二つに絞り、順位づけに応じて再投票して決める。	1位に5点、2位に3点、3位に1点を配分し、投票した人数で掛け算し、多い行き先に決める。
計算の過程	◆ 1位に選んだ人数 「農業体験」 ()人 「地元の文化財調査」 ()人 「裁判傍聴」 ()人	① 再投票の対象になる行き先 (a) (b) ② a、b に対して、最初の投票での順位づけに応じて再投票した人数の合計 a…()人 b…()人	◆ 掛け算の結果 農業体験 5点×()人=() 3点×()人=() 1点×()人=() 合計() 裁判傍聴 5点×()人=() 3点×()人=() 1点×()人=() 合計() 地元の文化財調査 5点×()人=() 3点×()人=() 1点×()人=() 合計()
結果 (○を付ける)	()農業体験 ()裁判傍聴 ()地元の文化財調査	()農業体験 ()裁判傍聴 ()地元の文化財調査	()農業体験 ()裁判傍聴 ()地元の文化財調査
「結果」を1位にした人	人	人	人
「結果」を3位にした人	人	人	人

(2) ①~④の観点について、最も当てはまるものから順に◎○△の三段階に分け、記号を線で囲もう。

観 点	A 単純多数決	B 決選投票	C 点数配分
①「結果」を1位にした人が多い(賛成意見が多い)	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
②「結果」を3位にした人が少ない(反対意見が少ない)	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
③投票や集計にかかる手間が少ない	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
④対象を絞って具体的に意見を確認しやすい	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △

(3) より多くの人の意見を反映するには、あなたはどの方法がよいと考えるだろうか。A~C やその他の方法を含めて、理由と共に考えてみよう。

私は多数決で()の方法がよいと考える。
 なぜなら()
)だからである。